



2023年度 順天堂大学医学部 一般 入試問題

2023年 2月3日実施

実際の入試問題

II に適する解答をマークせよ。

(a) 点Oを原点とする座標空間において、2点A $(\sqrt{3}, \frac{1}{2}, \frac{\sqrt{3}}{2})$,

B $(\sqrt{3}, -\frac{1}{2}, -\frac{\sqrt{3}}{2})$ をとる。 $\triangle OAB$ は1辺の長さが ア の正三角形である。

t を实数として、 $0 \leq t \leq \frac{\sqrt{3}}{2}$ のとき平面 $z = t$ と辺OAは

点 $(\text{イ } t, \frac{\sqrt{\text{ウ}}}{\text{エ}} t, t)$ で交わり、平面 $z = t$ と辺ABは

点 $(\sqrt{\text{オ}}, \frac{\sqrt{\text{カ}}}{\text{キ}} t, t)$ で交わる。

$\triangle OAB$ を z 軸の周りに1回転して得られる立体を V とすると、立体 V と平面 $z = t$ は

$-\frac{\sqrt{3}}{2} \leq t \leq \frac{\sqrt{3}}{2}$ のとき交わりを持ち、そのときの立体 V の平面 $z = t$ による切り口は半径

$\frac{\sqrt{\text{クケ}}}{\text{コ}} t$ と $\sqrt{\frac{\text{サ}}{\text{シ}} + \frac{\text{ソ}}{\text{ス}} t^2}$ の同心円で囲まれた部分となる。したがっ

て、切り口の面積は $(\text{セ} - \text{ソ}) t^2 \pi$ となり、 V の体積は

$\text{タ} \sqrt{\text{チ}} \pi$ となることわかる。

(b) 3点O, A, Bを通る円Cは中心が

点 $(\frac{\text{ツ}}{\text{ト}}, \frac{\sqrt{\text{テ}}}{\text{ト}}, \text{ナ}, \text{ニ})$, 半径が $\frac{\text{ヌ}}{\text{ノ}} \sqrt{\frac{\text{ネ}}{\text{ト}}}$

の円であり、 $z = \sqrt{\text{ハ}} y$ で表される平面上にある。円Cと平面 $z = t$ は

$\text{ヒフ} \leq t \leq \text{ヘ}$ のとき交点を持ち、その交点の座標は

$(\frac{\text{ホ}}{\text{ミ}}, \frac{\sqrt{\text{マ}}}{\text{ミ}} (\text{ム} \pm \sqrt{\text{メ} - t^2}), \frac{\text{モ}}{\text{ヤ}} t, t)$ と表される。したがって、円Cとその内部からなる円板を z 軸の周りに1回転して得られる立体の

体積は $\frac{\text{ユ}}{\text{ヨ}} \pi^2$ である。

「YMSの
2022年度
選択授業・標準数学」から
入試問題が
ズバリ的中!!



「回転体の
体積」
が的中!!

YMS 2022年度 選択授業・標準数学テキスト

xyz 座標空間に2点A(0, 1, 0), B(-2, 1, 0)があり、線分ABを直径とする半円Dを図のように xy 平面に垂直に立てる。このとき、半円Dを z 軸の周りに回転してできる立体の体積 V を求めよ。

